

サニナビ 北九州



北九州保健所
東部生活衛生課
広域食品指導係
小倉北区西港町 94-9
TEL 093-583-2048

異物混入対策について

近年、食品への異物混入事例が数多く報道され、消費者の関心を集めています。異物の種類は多岐にわたるため、混入の原因と対策も様々です。
今回は、その中でも9～10月に起こった事例の一部を紹介いたします。

☆スナック菓子に樹脂部品混入

カルビー株式会社は10月2日、スナック菓子の製造ラインの一部で、樹脂製部品が混入した可能性があるとして、工場場で製造された14万個あまりを自主回収すると発表しました。

購入した消費者から「ビールのようなものが入っている」といった指摘が複数あり、工場を調査したところ、ベルトコンベアの部品が混入していたと判明しました。

原因は、機械の不良によりベルトコンベアに傷、ズレが発生したためでした。

☆乳児用液体ミルクに缶のコーティング混入

雪印メグミルクは10月14日、子会社が販売している液体ミルクに缶表面のコーティングの一部(フィルム)が混入している可能性があるとして、およそ40万缶を自主回収すると発表しました。製造を委託している工場で行われた出荷前の検査で混入が判明し、健康被害

の報告や苦情等はなかったものの、4月以降に発売したおよそ40万缶が自主回収対象となりました。

☆小学校の給食にネズミの死骸混入

鶴岡市教育委員会は9月30日、同市中学校の給食に出された瓶入り牛乳1本に異物が混入していたと発表しました。体長約5cmの小動物の死骸で、ネズミとみられています。開封前に発見し、生徒が牛乳を口にすることはありませんでした。

牛乳を直接学校に納入していた業者は、製造過程で混入した可能性を認め、原因として瓶の保管体制や製造中の目視確認の不十分さが考えられるとしました。

異物混入の主な対策

- ① 設備等の分解・組立を適切に行う。
故障や破損があるときは、速やかに補修し、適正に使用できるよう整備する。
- ② 施設やその周囲は、適切に清掃する。
ネズミや昆虫の駆除を定期的に行い、網戸・トラップ等侵入防止対策をする。
- ③ 食品取扱者は、衛生的な作業着、帽子、マスクを着用し、作業場内では専用の履物を用い、装飾品、安全ピン等、不要なものを施設内に持ち込まない。
- ④ 洗浄剤、消毒剤等は、使用、保管等の取扱いに十分注意し、容器に内容物の

名称を表示する等、食品への混入を防止する。

食品への異物混入は、HACCPに沿った衛生管理を行うことで防げる事例も多くあります。異物混入は、食品を扱うすべての業種において起こりうる可能性があるため、適切な対策が必要です。

食品安全情報

北九州市内での食中毒事件が相次いで発生しています。

☆小倉南区の医療機関で27人食中毒 給食が原因

10月4日～6日にかけて、小倉南区の医療機関で、入院患者27名が下痢、嘔吐、発熱などの症状を訴えました。うち、有症者13名の便からウエルシユ菌を検出したことや、症状、喫食状況などから、北九州市は、当該病院で提供された給食を原因とする、ウエルシユ菌食中毒と断定しました。

※ウエルシユ菌食中毒の対策等についてはサニナビ9月号を参照ください

☆八幡西区の焼き鳥店で3人食中毒 カンピロバクター

北九州市は10月27日、八幡西区の焼き鳥店で食中毒が発生し、店を同日から2日間の営業停止処分にしたと発表しました。

10月15日夜に鶏レバーの刺身などを食べた19～22歳の男女7人のうち3人が下痢や腹痛などの症状を訴え、うち2人の便からカンピロバクターが検出されました。

・カンピロバクターとは？

家畜、ペット、野生動物など多くの動物に生息し、特に鶏の保菌率が高くなっています。近年、本菌による食中毒事件が多発しており、令和元年の発生件数はアニサキスに次いで2位(286件)でした。対策として、鶏肉の生食を控える等の普及啓発が重要視されています。

・症状は？

【潜伏期間】2～7日

【症状】下痢、腹痛、嘔吐、発熱等

稀に重症化し、「※ギラン・バレー症候群」を発症する

※ギラン・バレー症候群
手足や顔面神経麻痺・呼吸困難等を起こす

・主な原因食品

鶏肉の刺身やたたき等、半生や加熱不十分な鶏肉(※二次汚染により各種食品が原因食品となる場合もあり)

・予防のポイント

- ① 食肉、特に鶏肉は十分に(中心部を75℃以上で1分間以上)加熱して調理し、生食を避ける
- ② 生肉を扱った後は器具類、手指等を十分洗浄・消毒する
- ③ 食肉は他の食品と調理器具や容器を分けて処理・保管をする 等

編集後記

11月になり、寒さが増してきました。手洗いが億劫になる季節ですが、感染症・食中毒予防のためにも、手洗いはしっかりと行いましょう。

今月の写真は、「京都の鴨川」です。